

## おじいちゃん戦争のことを教えて

既に10万部以上のベストセラーとなっている「おじいちゃん戦争のことを教えて」から、脱亜入欧という日本精神の危機に際して、明治天皇がとった道德教育の大切さを記述した部分を紹介致します。瀕死の重傷だったアサヒビールを「スーパー・ドライ」の大ヒットで見事な復活を成し遂げた中條高德氏は、一方で保守派の論客としても知られています。氏は毎朝靖国神社に参拝するため、近くのマンションに居を移すなど、有言実行を地でいく貴重な人材です。



致知出版から1400円税別で好評発売中です。

## 文明開化の中で見直した日本精神

日本のこの特質はどこからくるのか。その根源は日本人の心のあり方、いってみれば日本精神にある、と私は思う。

日本は豊かな自然に恵まれている。この自然を大切に、自然の法則に従っていれば、幸せに生きていくことができる。そういう風土が長い年月の間に日本人のなかに一つの心を培った。自然を敬い、恐れ、あがめる気持ちだ。それはあらゆるものにありがたさを感じ、身を慎んで謙虚に振る舞い、礼儀を正し、調和していこうとする心だ。そして、そういう心にさせるすべてのものに神を感じた。

だから、日本人が抱く神の概念は欧米とはまったく異なる。欧米の神は全知全能の絶対者である。だが、日本人にとっての神は、感謝の念を抱かせ、謙虚に振る舞わせ、礼儀と和を大切に作る行動をとらせる、そういう心にさせるすべてのものだ。身の回りにある自然をはじめとするすべてのものが、日本人にとっては神なのだ。

キリスト教が普及する以前のヨーロッパ、古代のギリシアやローマは多神教だった。ギリシア神話の神は、数えると三十万もいるという。だが、日本はそんなものではない。身の回りのすべてに神を感じる日本人にとって、神は八百万なのだ。

このような心を根源にして、日本人は規範をつくり、秩序を構築し、道徳を養ってきた。これらをトータルしたものが、日本精神と呼ぶものなのだ。

日本人の基盤にこの日本精神があるから、外米の文化文明を寛容に受け入れ、それを吟味して消化し、日本的なものにして取り込むことができたのだ。日本精神が基盤にあり、しっかりとした支柱になっているから、どのよばな圧倒的な外来文化にもたじろ

ぐことはなく、日本は日本であり続けることができた。



中條高德氏、氏のHPから。

もともと、それがいささか揺らいだ時期がないではない。明治の初期がそうだった。

維新を成功させて日本は近代国家に大きく歩み出した。幕藩体制が崩れて武士階級は途方に暮れ、封建体制から解放されて庶民は喜びに沸く。その交錯のなかで文明開化の波はたちまち全国に広がった。

文明開化とは何か。それは端的に言えば、日本の伝統文化から抜け出し、欧米の文化に脱皮することだった。それを表現したのが「脱亜入欧」である。日本の伝統文化をかなぐり捨ててアジアから抜け出し、欧米の文化文明を身につけて欧米社会の仲間入りをするというわけである。

欧米崇拜は高まり、風俗、習慣、衣食住すべてが欧米風でなければ夜も日も明けないありさまだった。「道徳倫理など古めかしきことは、今日の文明人の重んずるところにあらず」と高言する洋行帰りが幅をきかせ、ハイカラともてはやされた。

明治初期の一時期、確かにそういうことがあったのだ。これは日本精神の危機だった。

だが、こういう風潮を強く懸念した人がいた。明治天皇である。

明治天皇は全国を巡幸され、人びとの暮らしのなかに深く入り、小学校の授業まで参観されるなど、つぶさに民情を視察された。そして、西欧一辺倒の風潮に強い憂慮を抱かれたのである。

ことに明治天皇が憂慮を深くされたのは、日本古来の美風に根ざした精神教育が疎んじられ、欧米の教育の模倣に陥っている教育現場の状態だった。明治天皇は侍講の元田永孚に幼少年の道徳教育が急務であることを熱心に説かれた。

明治天皇のこの意を受けて編纂されたのが、「幼学綱要」である。一八八二(明治十五)年のことである。この「幼学綱要」は先に掲げた「教育勅語」の源流になったといわれる。

このようなことが新旧思想の大混乱のなかで欧米一辺倒にかぶれ、荒廃しかけた世相にブレーキをかけることになった。文明開化の急流のなかで日本人はふと立ち止まり、自分のなかにある日本精神に気づき、それがいかに大切なものであるかを感じ取ったのだ。

(200-203頁)

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(4\)](#)

タグ: [中條高德](#) [孫娘からの質問状](#) [脱亜入欧](#) [日本精神](#) [道徳教育](#) [幼学綱要](#)

コメント(4)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [八丁堀さん](#)

2009/02/17 09:16

おはようございます。

私の親戚で92歳になるお爺さんが先週お亡くなりになりました。

元兵隊さんで、戦時中は満州にずっとおられた方です。

その方は我が家の家業を81歳まで手伝ってくれた功労者でもあり、私が31歳まで一緒に働いていましたが、時々戦争のお話をしてくれましたね。

86歳くらいから痴呆が進んで施設に入った為、私が歴史に対して興味を沸くのが遅かったというのもあるのですが、もっと沢山戦争当時のお話を聞いておけば良かったと今更ながら後悔しております。

この前はparkmountさんに教えてもらい、伊勢市で「南京の真実」を観て参りました。その戦争中での生き証人でもある稲垣清さんも参加されておりました。

今年99歳になるそうです。

車椅子に座っておりましたが、挨拶されたときはきちんと立っておりました。いつまでもお元気でられるのを祈るしかありません。

本当にその戦争当時を知っている方が少なくなっているのを見てみると、私達がしっかりしなければいけない。と責任を感じる今日この頃です。



Commented by **花うさぎさん**

To 八丁堀さん おはようございます。

2009/02/17 10:58

>もっと沢山戦争当時のお話を聞いておけば良かったと今更ながら後悔しております。

そうですね、満州なら聞きたい事は山ほどあったでしょう。

>その戦争中での生き証人でもある稲垣清さんも参加されておりました。

>今年99歳になるそうです。

この方は確か一昨年12月の九段会館の集会にも出られたと思いますが、お元気そうで何よりです。

>私達がしっかりしなければいけない。と責任を感じる今日この頃です。

本当ですね。しっかりしないと。英霊に申し訳が立ちません。



Commented by **kaigaramusiさん**

首相官邸へ中川大臣へ応援のメールを入れたすぐ後に

辞意表明されていたことを知り、本当に悲しくなりました。

本当に、日本はどうなってしまうのか心配になります。

すいません、花うさぎさんへ書かずにはいられませんでした。

2009/02/17 13:50



Commented by **花うさぎさん**

To kaigaramusiさん こんにちは。

2009/02/17 14:03

>首相官邸へ中川大臣へ応援のメールを入れたすぐ後に

>辞意表明されていたことを知り、本当に悲しくなりました。

参りましたね。ガックリ来ています。

>本当に、日本はどうなってしまうのか心配になります。

麻生総理を支えてきた保守派の後ろ盾でしたからね。ここは予算を通したらゆっくり健康回復に専念して欲しいです。